

1.開会挨拶 委員長 佐藤 校長

2.議事

- 1) ご報告事項
- 2) 意見交換
- 3) その他協議事項

国土交通省の動き

(1) 自動車整備士制度改正

- ・ガソリン+ディーゼル+二輪=2級(総合)
- ・小型+大型+二輪=1級(総合)
- ・新制度カリキュラムは2025年入学生より適用
- ・新制度下での試験は2027年3月実施
- ・試験時期を前倒しして年度内に合否発表
- ・1級は口述廃止
- ・二輪は「部分資格」として残る

(2) 新制度下でのYTCの方向性

長年培ってきたノウハウのある「2輪」カリキュラムは継続する
特長を活かしつつ、時流にも沿った対応を

- ・1級整備士の存在が大きくなることから、定員を現在の20名から増員を検討
- ・制度改正自体は現場への影響は小さいと考えている。

(3) 制度改正について委員より

- ・技術の進歩から考えると1級に重きが置かれることは妥当である。
- ・企業側も1級所持者の待遇を見直すべき。
- ・社内資格で新技術に対応している場合は国家資格に大きな意義を見出していない。

2) 外国籍エンジニアについて

(1) 新型コロナによる入国規制後

- ・規制緩和後の入国者が一気に来日、2024入学希望者の数はかなり増加している。
- ・コロナ前とは国籍の比率が大きく変わり、ベトナムからネパール、スリランカが増加、そしてバングラデシュなどのムスリムの国が急増した。
- ・今後も外国籍エンジニアの採用を強化していく。
- ・前回の委員会でも触れたが、住居の確保等で苦勞をしている。

(2) 委員からの意見

- ・在留資格の期限が1年と短く、更新手続きが頻繁にあって多忙。
- ・連続して採用することで後輩を教える流れができた。

以上